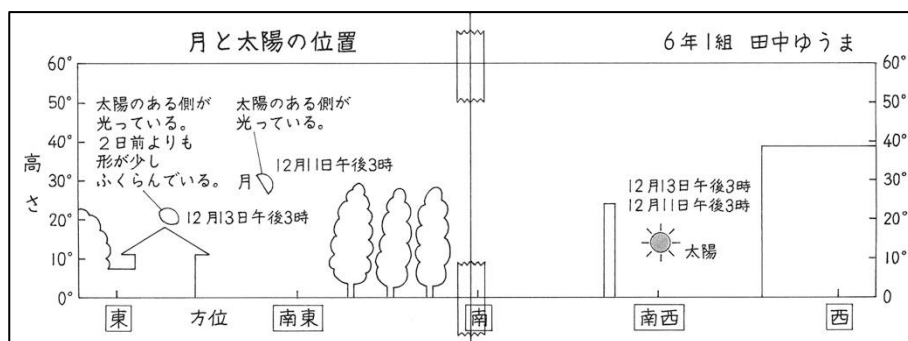
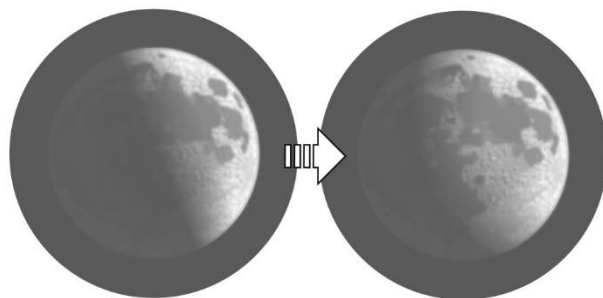


7 月の見え方と太陽

6年組名前 (

)

観察1では、日によって月の見え方はちがいますが、月の光っている側に、いつも太陽があることがわかりました。



比べよう

2回の観察結果をもとに、月の見える形や、月と太陽の位置関係のちがいを説明しましょう。

月の見える形や、月と太陽の位置関係のちがいについて、気づいたことや、もっと調べてみたいことを書きましょう。

【はてな？】

問題

7月の見え方と太陽 実験1

【はてな？】
問題

【予想を書こう】 月の見え方と、月と太陽の位置との関係を予想しましょう。

(理由)

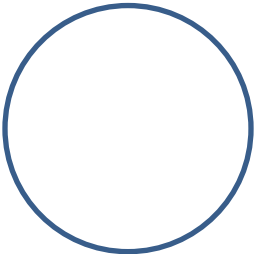
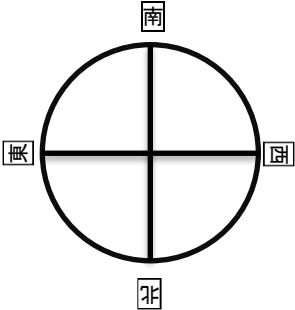
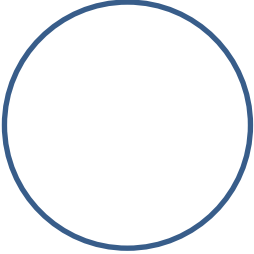
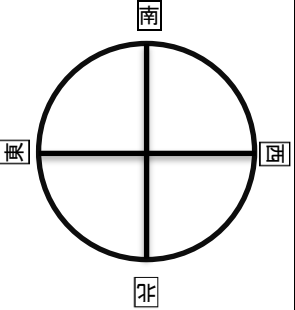
【実験の方法を確認しよう】 ボールとライトを月と太陽に見立てて、月の見え方と、月と太陽の位置関係について、自分の予想を確かめる方法を確認しましょう。

- 〈方法〉
- ①ゆかにビニルテープで円と十字を作って、東西南北の方位を書いた画用紙を置く。

②観察する人が円の中心に立って、観察1で調べた月と太陽の位置関係と同じになるようにボールとライトを配置する。

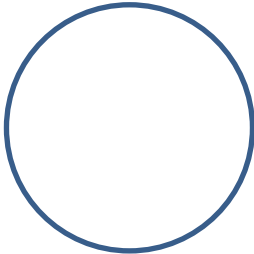
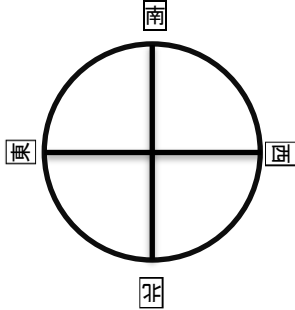
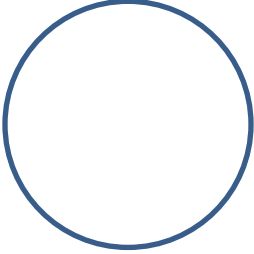
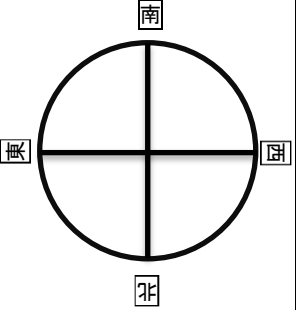
③部屋を暗くしてボールにライトの光を当て、観察する人からボールがどのように見えるかを調べる。

見通しをもとう

観察1で最初に観察したとき		観察1で2日後に観察したとき	
ボールの見え方	ボールとライトの位置	ボールの見え方	ボールとライトの位置
			

6年組 名前（ ）

【実験1】
ボールとライトの位置関係を変えて、ボールがどのように見えるかを調べよう。

観察1で最初に観察したとき		観察1で2日後に観察したとき	
ボールの見え方	ボールとライトの位置	ボールの見え方	ボールとライトの位置
			

【結果から考えられることを書こう】
ふり返ろう（例：見通しのとおり、見通しとちがって、など）

【結果からわかった問題の答えを書こう】

結論

【【広がる学び】】
月の満ち欠け

月は、およそ1か月かけて、地球の周りを一回りしています。月にはいつも太陽の光が当たっていますが、月は地球の周りを回っているので、地球から見ると、月の光っている部分の形が少しずつ変わって、新月→上弦の月→満月→下弦の月→新月と、月の見え方が変わっていくのです。このように、月の見え方が変わることを、月の満ち欠けといいます。